

ペットに与える前に、ご自身で、この冷房器のヒンヤリ効果を体験してください。

ペットが喜ぶ前に、ヒンヤリ効果＝吸熱効果（特許出願済み）を実際にご自身で体験されてからペットに与えることをお勧めいたします。

《冷房の体験方法》

- ① 冷房器を待機状態にします。冷房運転にして冷房器全体の温度が安定するのを待ちます。（猛暑の時は30分程度お待ちください。タオルや毛布などをプレートの上に被せておけば短時間で温度が安定します。）大型の場合は安定まで1時間ほどかかります。
- ② ペットになったつもりで、プレートに手の平または足の裏を押し付けてみてください。
- ③ ひんやりと感じた後に、手・足の熱がじわりじわりと吸い取られる【本冷房器の吸熱運転の効果＝特許出願済み】を実体験していただけます。
- ④ 3分程押し付けていて、手・足が十分に冷たくなれば、毛皮を着たペットにとっては心地よいヒンヤリ感で涼むことができる、《吸熱効果がある》ということを体験していただけます。

《暖房の体験方法》暖房は4ワット運転が基本です。寒冷地で使用する場合やUS-35以上の大型は8ワット運転をお勧めします。

- ① 毛布か厚手のタオルを被せて暖房運転をして温度が安定するのを待ちます。カバーを被せるのは、カーペットやこたつと同じです。
- ② （寒い冬は30分以上経過してから）手足を押し付けてみて、ほんのり暖かい状態をご確認ください。
- ③ 温度が高すぎる場合は、低温やけどの危険がありますので、毛布を厚く敷くなどで温度調節をしてください。

《調節》

毛皮を着たペットがひんやり感を心地よく感じる吸熱力に設定してありますが、身体が小さかったり、お腹の体毛が少ないペットの場合など、吸熱力が強すぎると感じたら、プレートの上にタオルや毛布を敷いてあげるとペットが安心します。

ペット自身がひんやり感を強く望む場合は、自分でタオルをどけます。暖房の場合も同様です。

※プレートは気温より数度低い状態でペットが載るのを待ちます。気温が高いときに、プレートに触って、冷えが弱いと感じた場合には、《冷房の体験方法》で、温度ではなく吸熱力を感じていただくと、この冷房器の効果をご理解いただけます。ペットの体熱を程よく心地よく、載っている間はいつまでも吸熱し続けることです。